

ディレクトリコネクタのSAML応答エラーのトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[Requirement](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景](#)

[トラブルシューティングの手順](#)

[ログ分析](#)

[根本原因](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Directory Connectorのログイン時のトラブルシューティングエラー「Submit SAML response Data/Cannot connect securely to this page」について説明します。

前提条件

Requirement

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Ciscoディレクトリコネクタ
- Webex Control Hub

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- バージョン3.8.2000.64687のCisco Directory Connectorアプリケーション
- Webex Control Hub

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景

このドキュメントでは、Cisco Directory Connectorアプリケーションを起動しようとする際に、「Submit SAML response Data/Cannot connect secured to this page error」をトラブルシューティングする方法について説明します。電子メールIDを入力すると、エラーが表示されます。

エラーメッセージをクリックすると空白のページが表示され、そのページを越えて移動することはありません。

トラブルシューティングの手順

1. Directory Connectorアプリケーションが実行されているのと同じサーバ/デスクトップ上のWebブラウザを使用して、同じ管理者クレデンシャル(Cisco Directory Connectorアプリケーションに使用されている)でControl Hubにログインできることを確認します。
2. 同じサーバ上のWebブラウザからログインしても、Cisco Directory Connectorアプリケーションにログインできない場合は、Directory Connectorアプリケーション自体の問題を示している可能性があります。
3. アプリケーションが最新バージョンを実行しているかどうかを確認することをお勧めします。インストールされていない場合は、利用可能な更新プログラムを確認し、更新プログラムがインストールされていることを確認してください。
4. 問題を再現し、イベントビューアのログを収集します。

ログ分析

これらの警告および情報メッセージは、イベントビューアのログで確認できます。

```
The operation cannot be performed on an offline library.
```

```
[sessionId: ] [DirSyncWorker DSWorker] DirSyncService waiting to be configured
```

```
The operation completed successfully
```

```
2023-12-14 14:20:58,515 [1] WARN Cisco.CoDev.Identity.DirSync.Update.Lib.UpdateUtil [(null)] - Failed t
```

これらのイベントは、ログでも確認できます。

```
[sessionId: ] [DirSyncWorker DirSyncWorker] 1 DirSync Plugin(s) Loaded.
```

```
[sessionId: ] [DirSyncWorker DirSyncWorker] Started DirSyncService version 3.8.2000.64687
```

The operation cannot be performed on an offline library.

[sessionId:] [DirSyncWorker DSWorker] DirSyncService waiting to be configured

Cannot create another system semaphore.

[sessionId:] [CheckWebView2Supported] WebView2 runtime not being installed

上記のように、WebView2に関連するエラーがイベントビューアのログに表示されます。これらのログ行も同じエラーを示しています。

<#root>

- <System>
<Provider Name="

Cisco Directory Connector

- Manager" />
<EventID Qualifiers="0">100</EventID>
<Version>0</Version>
<Level>4</Level>
<Task>0</Task>
<Opcode>0</Opcode>
<Keywords>0x8000000000000000</Keywords>
<TimeCreated SystemTime="2023-12-14T03:24:03.4691316Z" />
<EventRecordID>106</EventRecordID>
<Correlation />
<Execution ProcessID="0" ThreadID="0" />
<Channel>Cisco Directory Connector</Channel>
<Security />
</System>
- <EventData>
<Data>[sessionId:] [CheckWebView2Supported]

WebView2 runtime not being installed

</Data>
</EventData>
</Event>

根本原因

WebView2ランタイムは、Cisco Directory Connectorアプリケーションを実行しているシステムにインストールする必要があります。ログには、システムにWebView2ランタイムがインストールされていないことが明確に示されています。

解決方法

WebView2 Evergreen Bootstrapperを、Cisco Directory Connectorアプリケーションを実行しているサーバにインストールします。この[リンク](#)からダウンロードできます。

WebView2 Evergreen Bootstrapperをインストールした後、Cisco Directory Connectorアプリケーション (デスクトップの最下部にある上矢印からアクセス) を終了し、管理者としてCisco Directory Connectorアプリケーションを再実行して、再度サインインしてください。

これにより問題は解決します。

関連情報

- [ディレクトリコネクタの導入ガイド](#)
- [Directory Connectorリリースノート](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。